



# 川小だより

## 学校教育目標

・美点を認める明るい子 ・ルールを守る正しい子 ・背筋の伸びた丈夫な子

【目指す児童像・・・素直な子】

令和2年11月17日(火) No.12  
狭山市立入間川小学校

〒350-1323 狭山市鶴ノ木5-9

TEL 04-2952-6221 FAX 04-2952-6222

児童数 11/17 現在  
男子 261名 女子 239名 計 500名 (-1)

## 埼玉県学力学習状況調査の結果について

校長 新井 忠洋

本年度実施しました「埼玉県学力学習状況調査（4～6年生）」の結果が戻ってきましたので、お知らせします。個人票につきましては、2学期の通知票と一緒にお渡しします。

### 【埼玉県学力・学習状況調査】＝4～6年生対象

#### ○調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進すること。

#### ○実施日 令和 2年 6月12日(金)

#### ○実施学年・教科等

小4～小6 国語・算数・質問紙（学習意欲、学習方法及び生活習慣等）

#### ○実施教科における本校・狭山市・埼玉県の概要（下表）

4年生 国語	平均 正答率	領域別 平均正答率			R2 小4 レベル (平均)
		話すこと 聞くこと 書くこと	読むこと	伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	
入間川小	63.9	36.8	51.3	74.8	6-C
狭山市	63.2	38.4	53.6	72.8	6-C
埼玉県	64.3	42.1	56.4	72.7	6-C

4年生 算数	平均 正答率	領域別 平均正答率				R2 小4 レベル (平均)
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	
入間川小	61.8	67.5	76.2	47.3	50.4	5-C
狭山市	61.3	66.5	75.2	47.3	50.9	5-C
埼玉県	64.2	68.4	76.7	50.0	57.4	5-B

5年生 国語	平均 正答率	領域別 平均正答率			R2 小5 レベル (平均)	同集団に おける学 力の伸び (平均)
		話すこと 聞くこと 書くこと	読むこと	伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項		
入間川小	61.1	43.6	59.8	65.9	6-A	4
狭山市	61.4	40.7	61.2	66.5	6-A	3
埼玉県	62.1	45.7	62.9	65.5	6-A	3

5年生 算数	平均 正答率	領域別 平均正答率				R2 小5 レベル (平均)	同集団に おける学 力の伸び (平均)
		数と計算	量と測定	図形	数量関係		
入間川小	56.9	53.8	55.3	64.4	57.5	5-A	1
狭山市	60.2	58.1	59.0	64.7	61.3	5-A	0
埼玉県	61.7	60.0	59.5	65.0	63.9	6-C	2

6年生 国語	平均 正答率	領域別 平均正答率			R2 小6 レベル (平均)	同集団に おける学 力の伸び (平均)
		話すこと 聞くこと 書くこと	読むこと	伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項		
入間川小	55.0	48.1	56.8	55.6	7-C	5
狭山市	57.3	56.5	61.7	55.1	7-B	4
埼玉県	58.8	62.3	63.8	55.3	7-B	3

6年生 算数	平均 正答率	領域別 平均正答率				R2 小6 レベル (平均)	同集団に おける学 力の伸び (平均)
		数と計算	量と測定	図形	数量関係		
入間川小	53.6	56.1	46.5	55.7	54.5	6-B	2
狭山市	56.5	60.8	47.9	58.5	55.3	6-B	0
埼玉県	59.0	61.7	53.2	60.6	58.7	6-A	1

## <表の見方について>

平成27年度にスタートした埼玉県学力学習状況調査では、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点が加えられており、個人の伸びに関しては、今後お渡しします個人結果票に記されています。学校全体の伸びに関しては、表の「R2 小〇レベル（平均）」「同集団における学力の伸び（平均）」が該当します。「同集団における学力の伸び（平均）」の値は、昨年度と比較して下の表で何段階伸びたかを示しています。下の表が、各学年・市・県のレベルとなります。

6年生・算数を例にすると、昨年度（5年生）のレベルは5-Aでしたが、この一年間で2段階伸びて、6-Bレベルになったということです。（本調査が4年生以上のため、4年生の「同集団による学力の伸び（平均）」の項目はありません。）

各学年のレベルの範囲 【白色が該当学年の範囲】							
		小4		小5		小6	
		国語	算数	国語	算数	国語	算数
レベル9	A						
	B						
	C						
レベル8	A						
	B						
	C						
レベル7	A						
	B					市・県	
	C					入	
レベル6	A			市・県・入			県
	B						市・入
	C	市・県・入				県	
レベル5	A				市・入		
	B		県				
	C		市・入				
レベル4	A						
	B						
	C						
レベル3	A						
	B						
	C						
レベル2	A						
	B						
	C						
レベル1	A						
	B						
	C						

国語では、5年生はどの領域も県とほぼ同じでレベルでしたが、4・6年生では「話すこと・聞くこと・書くこと」「読むこと」のポイントが5ポイント以上低くなっています。また、回答の仕方でも、自分の言葉で答える「記述式」が4・6年生で低くなっていました。

算数では、どの学年も県を下回る結果でした。内容的には、どの学年も特に「数量関係」のポイントが低くなっていました。

国語・算数に共通している点として、『記述式』の問題の「正答率」が市・県に比べて低くなっていることでした。この傾向は、ここ数年続いていることから、学習のまとめを自分の言葉でまとめる活動に重点をおくと同時に、併せて、最後まで課題をやり通す態度等を育てていきます。

質問紙の中では、『普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます）をしますか』に対して、**4年生=43.6%** **5年生=48.8%** **6年生=52.5%**、の児童が、「2時間以上」と回答しています。【昨年度は、**4年生=36.7%** **5年生=33.8%** **6年生=40.8%**】 コロナ禍の状況で、昨年度よりもポイントが高くなったと予想されますが、少し多いと考えています。一方、『月～金曜日、1日にどのくらいの時間、勉強しますか。（学習塾・家庭教師を含む）』に対しては、**4年生=13.8%** **5年生=12.2%** **6年生=5.1%** の児童が、「30分より少ない」と回答していました。6年生以外は、県・市よりも悪い結果となっています。【昨年度は**4年生=21.8%** **5年生=18.2%** **6年生=12.3%**】 昨年度よりも学習時間が長くなったのは、コロナの影響で家にいる時間が増えたためと考えられます。ただ、4年以上のおよそ半数の児童が、1日2時間以上のゲームをしているということを重く受け止めています。ゲームをする時間が多くなれば、睡眠時間にも影響が出てきます。成長期の児童にとって、睡眠は欠かすことのできないものです。改めて、家庭での会話の柱の一つにしてみたいかがでしょう。